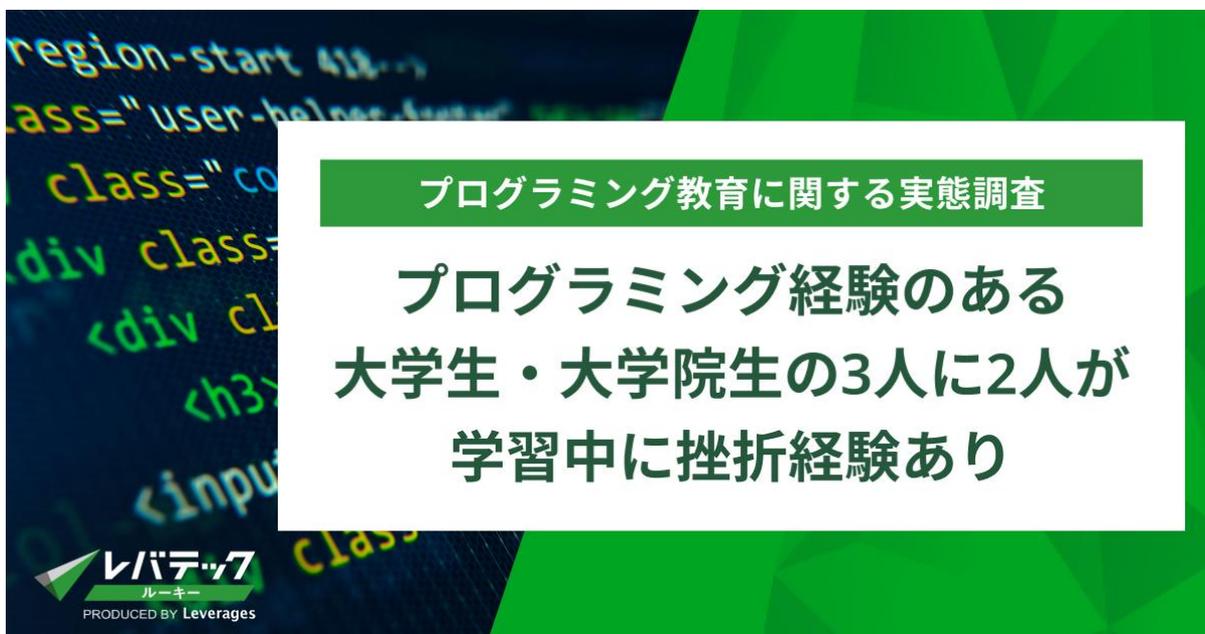




プログラミング経験のある大学生・大学院生の 3人に2人が学習中に挫折経験あり

プログラミング教育に関する実態調査



レバテック株式会社が運営する、ITエンジニア専門新卒向け就職支援エージェント、レバテックルーキー (<https://rookie.levtech.jp/>) は、プログラミング学習経験のある現役大学生・大学院生300名を対象に、プログラミング教育に関する実態調査を実施しました。

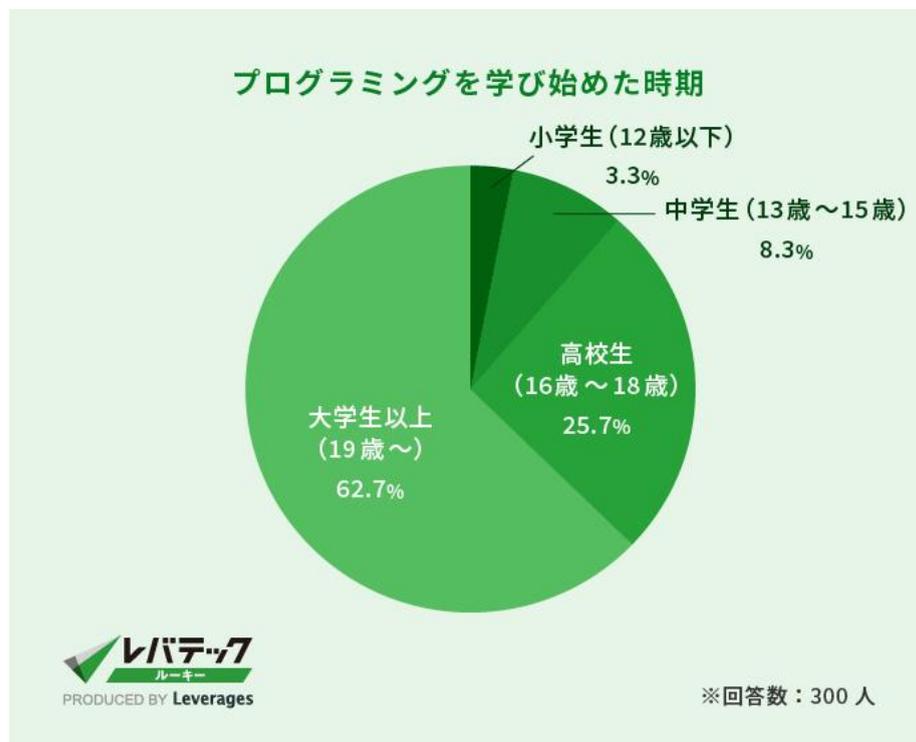
<調査トピック>

1. 約4割のプログラミング経験のある大学生・大学院生、大学入学前から学習を開始
2. 4人に1人が、YouTubeなどの動画サイトや書籍でプログラミングを学習
3. プログラミング学習中、3人に2人が挫折経験あり

1.約4割のプログラミング経験のある大学生・大学院生、大学入学前から学習を開始

プログラミング経験がある現役大学生・大学院生のうち、学習を始めた時期として最も多かったのは「大学生以上(62.7%)」となり、ついで、「高校生(25.7%)」「中学生(8.3%)」という結果になりました。

2020年度以降、文部科学省の学習指導要領の改訂によって小学校のプログラミング教育が必修化されるなど、近年、初等中等教育におけるプログラミング教育の重要性が増しています。今後も、小中学生のうちからプログラミング学習を開始する人が年々増えていくのではないのでしょうか。

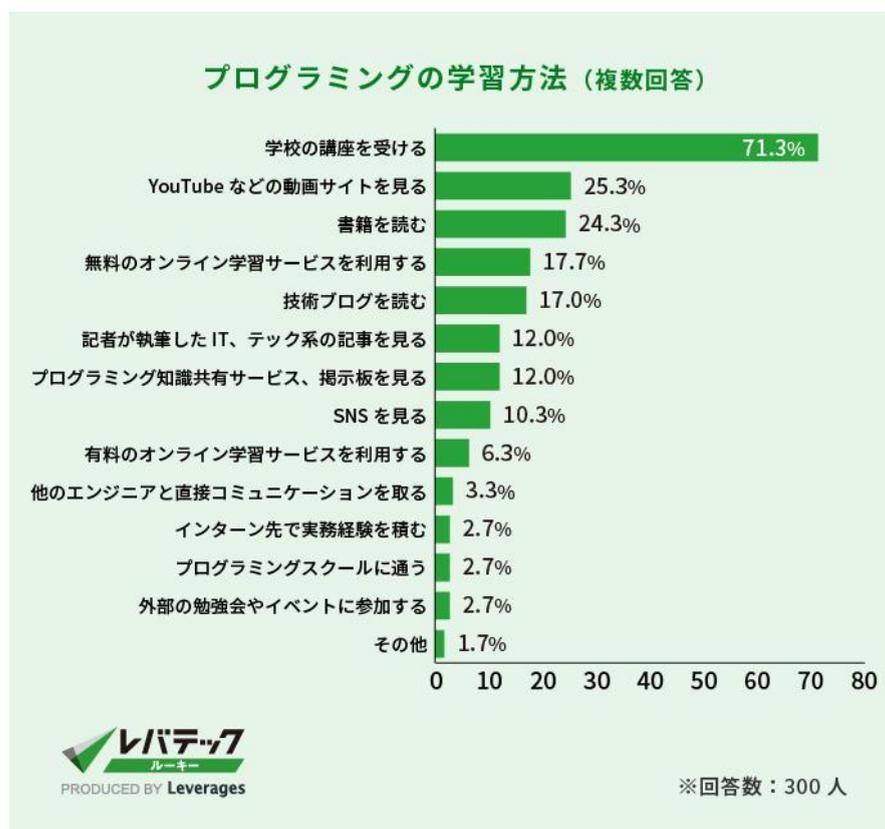
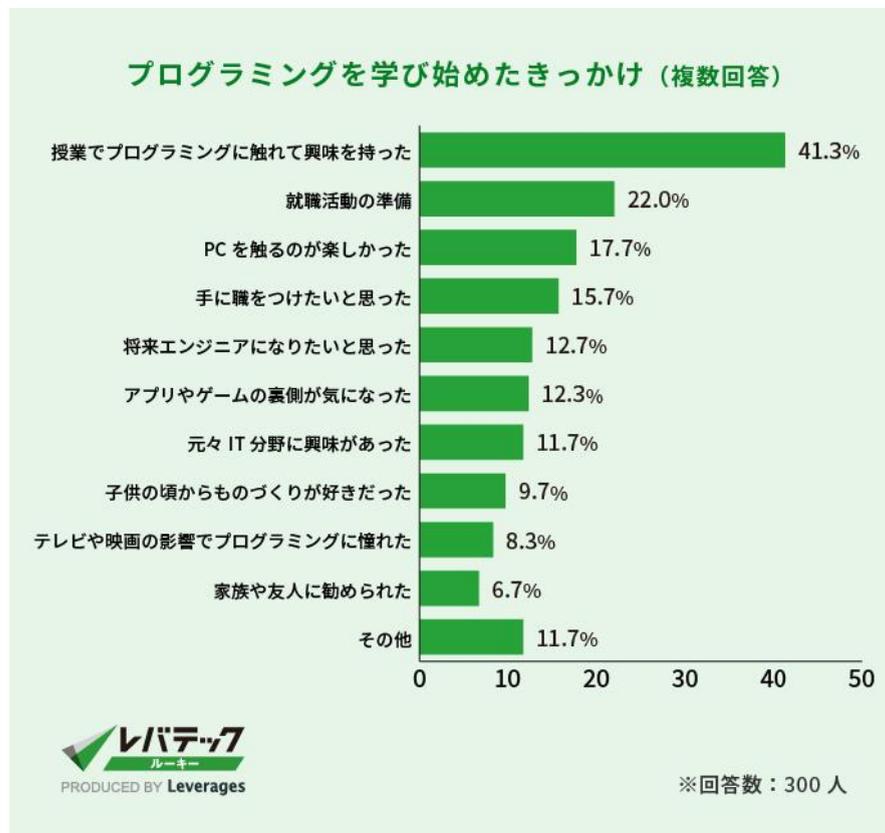


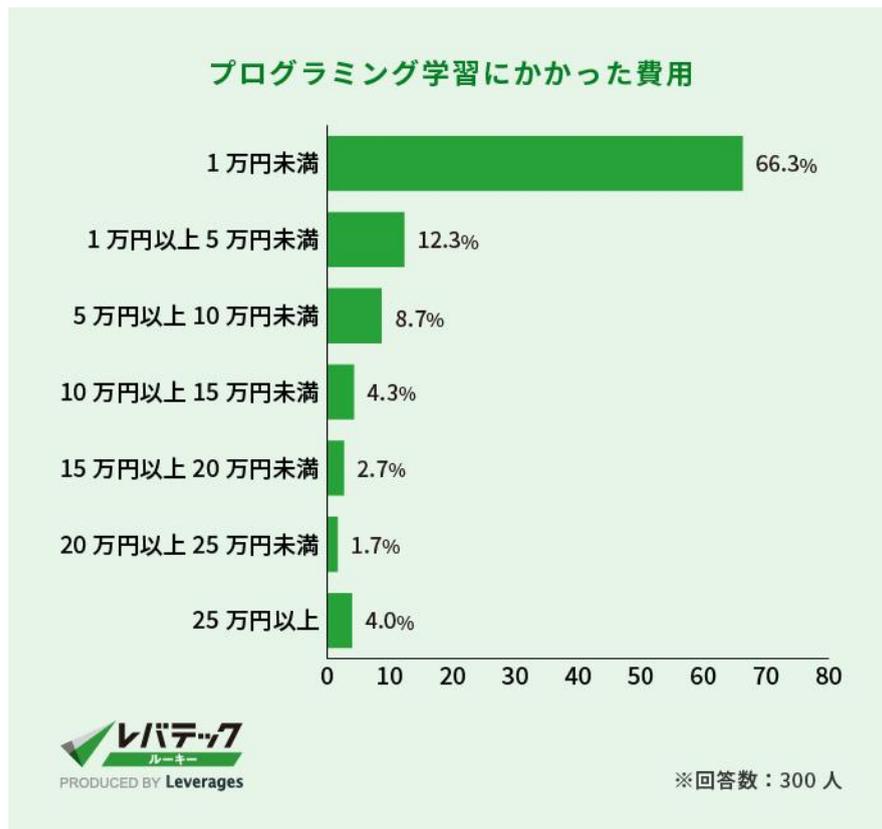
2.4人に1人が、YouTubeなどの動画サイトや書籍でプログラミングを学習

プログラミング言語を学び始めたきっかけで最も多かったのは、「授業でプログラミングに触れて興味を持った(41.3%)」でした。ついで、「就職活動の準備(22.0%)」「PCに触るのが楽しかった(17.7%)」と続きます。全体の4割以上の学生が、学校の授業を機にプログラミング学習を始めていることが明らかとなりました。※複数回答

プログラミング言語の学習方法は、「学校の講座を受ける(71.3%)」が最も多く、ついで「YouTubeなどの動画サイトを見る(25.3%)」「書籍を読む(24.3%)」という結果になりました。授業でプログラミングを学ぶ学生が大半を占める一方、約半数の学生がYouTubeや書籍などを使って独学で勉強しているようです。※複数回答

プログラミング学習にかかった費用で最も多かったのは、「1万円未満(66.3%)」となりました。オンライン学習教材や技術ブログなどを活用することで容易にプログラミングを学ぶことができるため、高額な費用をかけずに勉強する学生が多いことが伺えます。



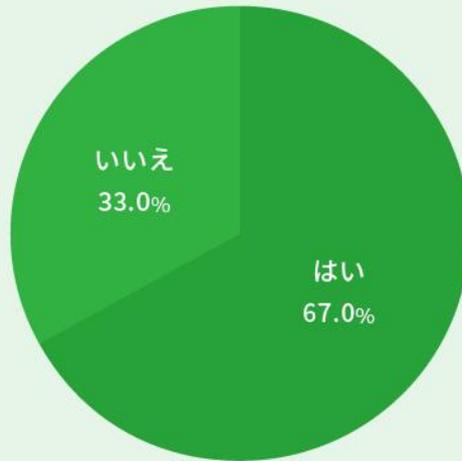


3.プログラミング学習中、3人に2人が挫折経験あり

プログラミング学習中に挫折経験があると回答した学生は、全体の67%という結果になりました。3人に2人が、何かしらの理由でプログラミングの習得に苦戦したことがあるようです。

挫折した理由として最も多かったのは、「不明点を聞ける環境がなかった・エラーが解決できなかった(50.7%)」でした。ついで、「モチベーションを維持できなかった(37.8%)」「勉強方法が分からなかった(32.3%)」と続きます。YouTubeなどのオンライン学習ツールや書籍などを活用し、独学で学習する学生も多いことから、気軽に質問や相談ができる環境がなく不明点を解消できずに挫折していく人が多いのかもしれませんが。※複数回答

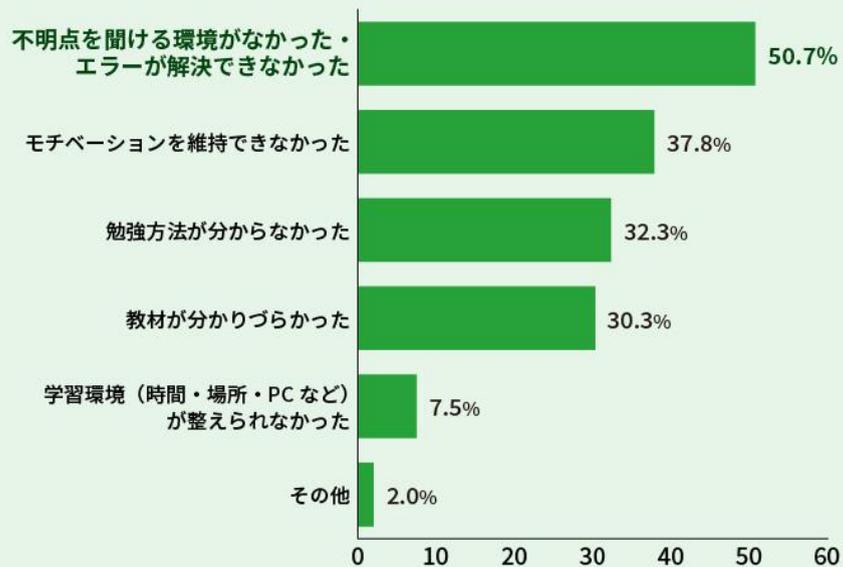
プログラミング学習において挫折した経験はあるか



PRODUCED BY Leverages

※回答数：300人

プログラミング学習において挫折したこと（複数回答）



PRODUCED BY Leverages

※回答数：201人

<レバテックルーキー事業責任者からの一言>

今回の調査から、プログラミング経験がある現役大学生・大学院生のうち、約4割が大学入学以前からプログラミングを学習していることが明らかとなりました。

プログラミング経験者のうち3人に2人の学生が、「不明点や勉強方法を聞けない」「モチベーションを維持できない」などが原因で、プログラミング学習中に挫折を経験しているようです。オンライン教材や技術ブログを通じて、誰でも気軽にプログラミングが学べる一方で、挫折原因の多くは学習環境に起因していることが予想されます。

今後エンジニアを目指す学生は、プログラミングスクールやコミュニティへの参加など、気軽に相談や質問ができる環境を整えておくことが、プログラミング習得における重要な鍵となるでしょう。

<調査概要>

調査対象: プログラミング学習経験がある大学生・大学院生300名

調査年月: 2023年1月17日～2023年1月20日

調査方法: Webアンケート調査

有効回答数: 300名

調査主体: レバテック株式会社

実査委託先: 楽天インサイト株式会社

レバテック株式会社

レバテック株式会社では、「IT業界のエンジニア・クリエイターの人生に寄り添う」をミッションに掲げ、Web・IT業界のエンジニアと企業を繋ぐSES(システム・エンジニアリング・サービス)事業を展開しています。現在は業界最大手のフリーランスエンジニア専門エージェント「レバテックフリーランス」ほか、転職エージェント「レバテックキャリア」など、エンジニア・クリエイターのキャリアアップのための様々なサービスを提供。累計登録者は30万人を超えます。



▽「レバテックフリーランス」フリーランスエンジニア専門エージェント

<https://freelance.levtech.jp/>

▽「レバテッククリエイター」フリーランスクリエイター専門エージェント

<https://creator.levtech.jp/>

▽「レバテックダイレクト」ITエンジニア・クリエイター専門求人サイト

<https://levtech-direct.jp/>

▽「レバテックキャリア」エンジニア/クリエイター専門の転職支援

<https://career.levtech.jp/>

▽「レバテックエキスパート」年収800万円以上のハイクラスエンジニアの転職支援

<https://career.levtech.jp/expert/>

▽「レバテックルーキー」エンジニアに特化した新卒向け就職支援エージェント

<https://rookie.levtech.jp/>

▽「レバテックカレッジ」大学生・大学院生対象エンジニア就活特化のプログラミングスクール

<https://rookie.levtech.jp/college/>

Leverages Group (<https://leverages.jp/>)

本社所在地：東京都渋谷区渋谷2-24-12 渋谷スクランブルスクエア24階 25階

代表取締役：岩槻 知秀

資本金：5,000万円

設立：2005年4月

事業内容：自社メディア事業、人材関連事業、システムエンジニアリング事業、M&Aコンサルティング事業、ASP、SaaS、クラウド関連事業

社会の課題を解決し関係者全員の幸福を追求し続けることをミッションに、インターネットメディア・人材・システムエンジニアリング・M&A・不動産の領域で国や業界をまたいだ問題解決を行なっています。2005年に創業以来、黒字経営を継続し2021年度は年商649億を突破しました。各分野のスペシャリストが集うオールインハウスの組織構成と、業界を絞らないポートフォリオ経営で、時代を代表するグローバル企業を目指します。

本リリースに関する報道関係のお問い合わせ
レバレッジズ株式会社 広報部
TEL: 03-5774-2900 MAIL: pr@leverages.jp